

新型コロナウイルス感染症（申第13号）に関する業務委員会での不明点について！

10月2日に行われた申第13号（新型コロナウイルス感染症に関する申し入れ）に対する業務委員会が開かれ、会社と議論しました。その中で、名古屋セントラル病院でのPCR検査が出来るのか否か調べて組合に知らせることと、宿題を出したところ、10月9日に窓口には回答がありました。

《宿題の内容》

- ・名古屋セントラル病院では、PCR検査をしていないのか。

【回答】

セントラル病院では、PCR法による検査は実施していないが、10月5日より、LAMP法による新型コロナウイルス感染症の陽性・陰性の検査を始めている。

＊LAMP法とは…

PCR法と同じく、検体からRNAを検出する方法で、PCR法に比べ増幅効率が高く、短時間で検査できる。PCR法と比較し、全体一致率96%（陰性一致率100%）である。

- ・なぜ、名古屋セントラル病院では、RAMP法での検査を導入したのか。

【回答】

設備の関係と聞いている。

- ・RAMP法で検査をしているなら、社員の検査も出来るのではないか。

【回答】

1日あたりの検査数に限りがある。

手術などをする患者様の検査が優先なので、社員の検査までは出来ない。

以 上